

令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1	当初	事 項	えひめ愛顔のジュニアアスリート発掘事業費										予算主管課		競技スポーツ課	
	事 業 概 要	スポーツの潜在的な才能を有する子どもの発掘から育成、強化、競技適性の見極めまでの一貫支援体制を構築し、将来、オリンピックを始めとする国際大会で活躍するトップアスリートの輩出に取り組む。										始期		H27		
												終期		R6		
	K P I	国際大会年間出場者数（愛顔のジュニアアスリート認定者及び修了生・愛顔のジュニアスポーツアカデミー受講生）														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		時点・期間	R4.11		時点・期間	R5年度		時点・期間	R6年度		時点・期間					
		現状値	5	人	目標値	5 人		目標値	10 人		目標値	人				
					実績値	10 人		実績値	人		実績値	人				
					達成率	200.00 %		達成率	%		達成率	%				
	コ ス ト			最終現計予算額	28,597 千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		
決算額				25,118 千円		決算額	千円		決算額	千円		決算額	千円			
5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 総括（事業最終年度の場合、要記入。）														
	見直し方向性	改善	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） R5年度の実績値10人が目標値の2倍となり達成率200%となった。本事業を開始したH28年度以降、R元年度に初めて国際大会への出場者を5人輩出。その後、コロナの影響によりR2～3年度にかけて出場者数が減少したものの、R5年度は10人の輩出とこれまでの出場者総計は25人と着実に成果を上げてきている。R6年度もさらなる成果が予想され、細施策KGIとの相関関係も高くなることが見込まれることから、R7年度はKPI目標値引き上げを図るとともに、事業内容を拡充する。													

2	当初	事 項	スポーツ医科学サポート事業費										予算主管課		競技スポーツ課	
	事 業 概 要	選手が怪我の予防や栄養管理、効果的なトレーニング方法等の知識を習得し、大会等で力を発揮できるよう、競技団体等に、専門的な知見を有する講師を派遣するなど、医科学サポート体制の充実を図るほか、国体参加に必要なとなる健康診断を支援する。										始期		H30		
												終期		R5		
	K P I	スポーツ医科学指導者派遣等事業の参加者数														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		時点・期間	R4.9		時点・期間	R5年度		時点・期間	R6年度		時点・期間	R7年度				
		現状値	2687	人	目標値	5000 人		目標値	5000 人		目標値	5000 人				
					実績値	4055 人		実績値	人		実績値	人				
					達成率	81.10 %		達成率	%		達成率	%				
	コ ス ト			最終現計予算額	14,180 千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		
決算額				12,175 千円		決算額	千円		決算額	千円		決算額	千円			
5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） ※終期延長（R5→R10）事業実施回数は前年度比約11%増となったものの、理学療法士や柔道整復師等の指導活動への参加者が減少し、1事業あたりの参加者数が約13%減となったため未達成となった。 総括（事業最終年度の場合、要記入。）														
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 目標達成率は81.1%と概ね順調であり、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。													

